



常任委員会で

議案を審査

すべて可決すべきものと決定

総務文教 常任委員会
5項目を審査

可決
すべきものと決定

燕市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正(第1号)

▼原案について

問 引き上げにあたり、新型コロナウイルス感染症による現在の市内産業等への影響について伺う。

答 国、県の新たな融資制度の実施で、影響が抑えられるところもあるが、産業関係の方々への聴取から、非常に深刻な状況に移りつつあると認識している。

▼議員発議による修正案について

問 修正案(※)の施行日を「令和2年10月1日」と半年間遅らせる理由について伺う。

答 新型コロナウイルス感染症による市内経済への影響、収束時期の予測がつかない状況の下、

議会としても、審議会の答申を真摯に受けた上で、できることは何かと考え、施行日の延長を提案した。

▼原案、修正案一括して討論

反対討論 本市においても、経済状況は深刻であり、先行きがまったく見えない中で議員報酬の引き上げは賛成できない。

賛成討論 審議会の決定を尊重し、かつ、感染症による情勢の大きな変化に合わせて、施行の延期を支持したい。冷静にこの先を見ながら、燕市議会として議論を重ね、適時、対処すべきである。

燕市児童クラブ条例の一部改正(第2号)

問 既存の児童クラブと比較して、運営内容や、提供できるサービスに差があるのか。

答 B&G財団との協働によるb&g 燕吉田南メートは、3年間の助成の条件として、施設の運営については、児童クラブの機能を持ちながら、希望者に対する利用時間は21時までとし、1食300円の食事提供サービスが可能としている。



世界の動きは、燕にも影響大

反対討論

マイナンバーカードの普及率は、現在も低調に推移している状況であり、カードの取得によって個人情報漏えいのおそれもあることから、本案に賛成することはできない。

令和元年度 燕市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

問 一般被保険者療養給付費の

産業建設 常任委員会
4項目を審査

可決
すべきものと決定

燕市産業史料館条例の一部改正(第1号)

問 改正後の法人パスポートの発行見込み数について伺う。

答 現状、法人パスポートの発行数を具体的に見込むことは難しいが、会議所や商工会の広報紙、企業が多く集まるイベントなどでPRし、多くの企業から購入していただけるよう努める。

問 市外の小中学生の入館者を増やす方法として、保護者も一



4月にオープンしたb&g燕吉田南メート(みなみ親水公園隣り)

令和元年度 燕市一般会計補正予算(第10号)

問 ICT教育推進事業に係る予算の内容について伺う。

答 文科省から、全国一律のICT環境の整備・普及について通知があり、1人1台のタブレット端末、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備するものである。今回の補正では校内の通信整備、タブレット端末の充電などのための電源キャビネットの整備を行ったのち、来年度に再度、補正をお願いする予定である。

緒に集まるスポーツ大会などでもPRをすべきではないか。

答 非常に大切な視点であり、産業史料館をPRする絶好の機会である。関係課と連携し、市内で行われる大会などの会場でチラシを配布するなど、視点を広げて集客に努めたい。



企業のビジネスにも活用してほしい

燕市営住宅条例の一部改正について

問 公営住宅の今後の在り方について伺う。

答 長寿命化して残していく団地と、募集を行っているが、将来的には募集を停止する団地とに分け、集約を進めたい。

その他の議案：燕市固定資産評価審査委員会条例及び燕市手数料徴収条例の一部改正について・令和元年度 燕市土地取得特別会計補正予算(第2号)

市民厚生 常任委員会
4項目を審査

可決
すべきものと決定

令和元年度 燕市一般会計補正予算(第10号)

問 個人番号カード交付事務事業交付金の増額理由や、有効期限を迎えるカードの更新状況について伺う。

答 マイナンバーカードの直近の交付枚数は6863枚で、交付率8.5%であり、申請数の増加に伴って発行数が増えたことによる交付金の増額である。有効期限の更新者数は、多くないように見受けられる。

問 ごみ処理費負担金が増額となった理由について伺う。

答 海外における廃棄物の輸入

令和元年度 燕市一般会計補正予算(第10号)

問 農地集積・集約化の進め方について伺う。

答 大規模の生産者が農業をやめたとき、受け手が見つからないことが、一番の課題である。集約や地域ごと、しっかりと受け皿づくりが重要であり、今後の方向性を地域の中で決められるように、支援していきたい。

園児通園ルート安全対策事業について

答 警察、道路管理者である土木課、保育園を所管する子育て支援課の3者で危険箇所洗い出しなどを行い、市が実施する路線を決定した。分水地区では、市で実施する路線はないが、県で実施する県道路線が1か所ある。